

赤十字講習会のご案内 【平成30年4月～6月版】

講習名	日時	会場
救急法基礎講習	5月3日(日) 6月10日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
救急法救急員養成講習	5月4日(金)・5日(土)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
救急法救急員資格継続研修	4月28日(土)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
水上安全法救助員養成講習 I	6月24日(日)・7月1日(日)・8日(日)	各務原市民プール
水上安全法救助員資格継続研修	6月3日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
幼児安全法支援員養成講習	6月5日(火)・6日(水)・11日(月) 6月28日(木)・7月4日(水)・5日(木)	岐阜赤十字病院 南館2階講堂 高山赤十字病院 3階大講堂
子育て支援ボランティア養成講習	6月12日(火)	岐阜赤十字病院 南館2階 講堂
すくすく子育てサポート講習(短期)	6月12日(火) 6月20日(水)	高山赤十字病院 3階大講堂
災害時高齢者生活支援講習(短期)	5月7日(月) 6月21日(木)	岐阜赤十字病院 南館2階 講堂 日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
こころとこころの架け橋講習(短期)	5月8日(火) 6月22日(金)	岐阜赤十字病院 南館2階 講堂 日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
癒しのハンドケア(短期)	4月17日(火)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
リラクゼーション(短期)	4月18日(水)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室

義援金・救援金の受付状況 (平成30年2月28日現在)

義援金名	受付金額	受付期間
平成29年台風第18号災害義援金	665,915円	平成30年3月30日まで
東日本大震災義援金	2,092,000,533円	平成31年3月31日まで
平成28年熊本地震災害義援金	203,487,920円	平成31年3月31日まで
バン格拉デシュ南部避難民救援金	66,500円	平成31年3月31日まで
中東人道危機救援金	127,657円	平成31年3月31日まで

今月のハイゼックス(非常炊飯袋)レシピ

紹介：川辺町赤十字奉仕団

けんちん汁

材料(1食分)

干しいたけ	0.7g
鶏もも肉	10g
木綿豆腐・大根・里芋	25g
人参・ごぼう	15g
油揚げ	3g
しいたげ戻し汁、出し汁	200cc
しょうゆ	3cc
酒	2cc
砂糖	適量



【作り方】

1. 干しいたけを水で戻す
2. 具材を適当な大きさにカットする
3. 具材、出し汁、しいたげ戻し汁、調味料を入れる
4. 熱湯で約30分茹でて出来上がり

紹介：八百津町赤十字奉仕団

野菜ういろ

材料(1食分)

小麦粉	50g
砂糖	50g
片栗粉	5g
水	約200cc
カボチャ	25～50g
人参	25～50g
よもぎ	10～25g



【作り方】

1. 野菜を軽く茹でてミキサーで細かくする
2. 小麦粉、片栗粉、砂糖、水を混ぜ合わせる
3. 野菜と調味料を袋に入れる
4. 熱湯で約20分茹でて出来上がり

赤十字だより ぎふ

Red Cross Gifu

発行日
平成30年4月1日 vol.42

編集・発行



日本赤十字社 岐阜県支部
Japanese Red Cross Society

〒500-8601 岐阜市善部中島2-9
TEL 058-272-3561
http://www.gifu.jrc.or.jp/



赤十字の活動は、皆様からの社資で支えられています

活動資金へのご協力を、よろしくお願いいたします。



9,785

回

日本赤十字社は、つづける。

1877年 西南戦争
1923年 関東大震災
1985年 御巣鷹山航空機墜落事故
1995年 阪神・淡路大震災
2011年 東日本大震災

はじめて救援を行った西南戦争以降、
さまざまな災害や事故の現場に9,785回、
救援班を派遣してきました。^{※1}
こうした活動は、皆さまの会費とご寄付によって支えられています。^{※2}
皆さまのあたたかい想いと共に。

これからも、つづける。
人を救うことを。

救うことを、つづける。

毎年5月は赤十字運動月間です。赤十字活動へのご理解とご協力をお願いします。

CONTENTS

- 日本赤十字社岐阜県支部の活動を紹介します▶▶2
- 赤十字施設の活動を紹介します▶▶3
- 講習会のご案内(4月～6月分)▶▶4
- 義援金・救援金の受付状況▶▶4
- 今月のハイゼックスレシピ▶▶4
(非常炊飯袋)

日本赤十字社岐阜県支部の活動を紹介します！

地域奉仕団を担う次世代のリーダーを養成！

県内42市町村に組織されている地域奉仕団員を対象とした研修会を岐阜市内において開催しました。この研修会は、奉仕団の次世代のリーダーとして必要とされる知識や技術を習得し、様々な現場において活躍する団員を養成することを目的としています。

参加者は、①リーダーとしての心得②災害時のボランティア活動について③牛乳パックを使った非常食セットの作り方④地域での高齢者見守りための技術「ところどころの架け橋講習」の4つの項目を学び、充実した内容となりました。

- 事業名 平成29年度赤十字奉仕団リーダーシップ研修会
- 開催日 平成30年1月17日(水)～18日(木)
- 場 所 ぎふ長良川温泉ホテルパーク
- 参 加 34人



リーダーについて議論を重ねる

非常食セットの作り方を学ぶ

平成30年度事業計画・予算等が承認されました！

平成30年度における県内4施設(日本赤十字社岐阜県支部・高山赤十字病院・岐阜赤十字病院・岐阜県赤十字血液センター)の事業計画や予算などが評議員によって審議され、全会一致で承認されました。

災害救護に備えた訓練の実施や市町村への資料整備(災害用移動炊飯器・防災倉庫・天幕・救援車両)、地域医療への貢献、安定した血液供給、一般市民に対する救急法等の普及活動、地域におけるボランティアの育成、青少年赤十字活動の強化等に取り組んでまいります。

- 事業名 平成29年度第2回日本赤十字社岐阜県支部評議員会
- 開催日 平成30年2月7日(水)
- 場 所 日本赤十字社岐阜県支部 大会議室



人命救助の技術を競います！

救急法の知識と技術の向上を目的に、「救急法競技会」を開催しました。競技会には、県内の奉仕団員等が参加し、傷病者に対する正確かつ迅速な手当ての技術を競い合いました。

- 事業名 第2回赤十字救急法競技会
- 開催日 平成30年2月25日(日)
- 場 所 岐阜メモリアルセンター
- 参 加 400人



【総合部門】

- 第1位 岐阜市赤十字奉仕団北部ブロックあすなろ
- 第2位 津市赤十字奉仕団チームかいつち
- 第3位 池田町赤十字奉仕団

【応急手当部門】

- 第1位 岐阜市赤十字奉仕団北部ブロックあすなろ
- 第2位 垂井町赤十字奉仕団サファイヤ・チーム
- 第3位 大垣市赤十字奉仕団Bチーム

【一次救命部門】

- 第1位 下呂市金山赤十字奉仕団金山巨石群/パワー
- 第2位 岐阜市赤十字奉仕団北部ブロックあすなろ
- 第3位 富加町赤十字奉仕団チームとみか

赤十字の支援団体が小学校に絵本を贈呈！

岐阜県赤十字有功会から青少年赤十字に加盟する小学校117校に対し図書を贈呈しました。この事業は、有功会の社会貢献事業として、今年で9回目を迎えます。

贈呈式では、会員を代表して株式会社十六銀行土岐支店支店長 水戸浩昭様から児童に図書が手渡されました。

- 事業名 岐阜県赤十字有功会図書贈呈
- 開催日 平成30年2月19日(月)
- 代表受領校 土岐市立土岐津小学校
- 贈呈者(会員代表) 株式会社十六銀行 土岐支店



【贈呈絵本】「地球のなかまたち」



赤十字施設の活動を紹介します！

バングラデシュ南部避難民救援事業に内科医師を派遣(高山赤十字病院)

2017年8月24日以来、ミャンマー西部のラカイン州では暴力行為が相次ぎ、これまでにバングラデシュに逃れてきた人々が61万人を超えています。現地では、水やシェルター、食料等が不足しており、医療機関や公的なサービスが逼迫(ひびく)した状態が永く続いております。

このような状況に対し、高山赤十字病院では、日本赤十字社(本社)を通じ、国際赤十字・赤新月赤連盟の要請を受け、平成29年12月28日(木)から平成30年1月25日(木)の約1ヶ月間にわたり、内科医師 白子純子(しろこじゅんこ)をバングラデシュへ派遣しました。

ジフテリアの感染が広がっている現地で、白子医師は、基礎保健ERU(Emergency Response Unite)要員として、基礎的な治療、母子保健、地域保健、予防接種、栄養状況観察等のサービスを提供し、多くの人々を支援しています。



出発の挨拶をする白子医師

〒506-8550 高山市天満町3-11 電話:0577-32-1111(代表)

「生きてほしい」～バングラデシュで医療支援活動～(岐阜赤十字病院)

医療支援活動として、平成30年1月5日から2月23日までの約2か月にわたり、今井潤子看護師がバングラデシュ南東部ココスバザールの難民キャンプで活動を行いました。平成29年8月下旬から、ミャンマーラカイン州で暴力行為が相次ぎ、隣国のバングラデシュへ40万人以上の市民が避難しています。「どれくらいの活動ができるのか想像出来ませんが普段の仕事で培った知識と技術を生かして支援したい」と強い決意を胸に現地へ赴きました。

「人口の多さと難民キャンプではない場所であっても、日本との生活環境の違いに衝撃を受けました。病院は、竹を使用して作られており、手術室やレントゲン室も完備されていました。この環境に慣れるまで時間がかかり、言葉の壁などもあって、活動するには不安もありました。少しでも自分に出来る事を模索しながら活動した貴重な時間でした。今回の活動を通して、避難民の支援に必要とされることは何なのか考えていきたい」と感想を述べました。



活動中の今井看護師(右から2番目)

〒502-8511 岐阜市岩倉町3-36 電話:058-231-2266(代表)

学生ボランティアを募集しています(岐阜県赤十字血液センター)

岐阜県赤十字血液センターでは、イベントの実施や献血会場での呼び掛けなどを手伝っていただけるボランティアを募集しています。

活動は、学生ボランティアが中心となるサマー献血(8月)や、クリスマス献血(12月)キャンペーンの企画や宣伝用ポスターや看板の製作など、学生の皆さんで企画した内容がイベントで実現します。

現在、岐阜市のマーサ21(毎月第3日曜日)と新岐阜献血ルームにおいて、ボランティアの募集を行っております。

【問い合わせ先】

- 岐阜県赤十字血液センター [推進課] 058-272-6927(8:30～17:00)
- 新岐阜献血ルーム 058-264-2122(10:30～18:00)



〒500-8269 岐阜市茜部中島2-10 電話:058-272-6911(代表)